

平成 31 年 1 月号

今月の断酒表彰

☆ I・Y さん 南千里支部 断酒六カ月

☆ S・S さん 吹田支部 断酒十五年

断酒表彰おめでとうございます。ますますの
ご活躍を期待いたします。

平成 31 年 1 月 1 日発行 No.191

編集・発行 事務局・広報部

<http://suitashi-danshukai.net>

新年ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
平成最後の正月となりました、本年は5月より新しい年号になる節目の年です。

断酒継続できている会員は初心に戻り例会出席、新しい会員は気のゆるみが出ないように出来るだけ例会出席ができる努力をして、今年一年また、笑って終われるよう共に努力してまいります。

酒害で苦しんでいる人を少しでも減らせるような断酒会活動も昨年以上に行えるよう会員家族の皆様にもご協力をお願いいたします。

昨年は会員のWさん、Hさんご夫妻、Mさんがお亡くなりになりました。断酒会の為に長年に渡ってご尽力頂いた先輩でした、謹んで感謝と共にご冥福をお祈りします。

昨年は目標として、毎日例会への出席を行うとして行動してまいりましたがほぼ目標の達成ができました。

この結果で自分の断酒継続に繋がっているのはもちろんですが、断酒会全体の活性化に微力ながらも役立っているのかと感じています。

今年もできる限りの範囲で、毎日例会を継続し怠け心が起こらないよう、日々、「反省」、「感謝」、「報恩」の気持ちを持ち続けてまいります。

酒害者を一人でも減らせるよう、断酒会の更なる前進と会員、ご家族の皆様のご多幸、ご健勝を祈念して新年のあいさつといたします。

本年もどうぞよろしく願いたします。
平成三十一年元旦

吹田市断酒会 会長 辻本 武

新年私のひとこと (五十音順・敬称略)

あせらず、急がず、これまでのペースを変えずに、断酒を続けていきたい。
(吹田・本人)

昨年は、災の年でした。本年は、幸の年になるといいですね。そのために一日一日を大切にしたいと思います。
(吹田・本人)

元号も新しくなる一年。今年も断酒継続してきます。孫の小学校入学に新たな力を得ました。
(吹田・本人)

断捨離は、ヤフオク利用で年内に達成しました。断捨離は一生のテーマです。
(南千里・本人)

油断することなく、「飲まない一年」を過ごしたいと思います。
(南千里・本人)

今年も一年無事にすごせました。来年も無理なく一年がすごせるように。
(吹田・本人)

まずは断酒。そうすれば、大概のことはなんとかなる。今年も細く長く続けていきたいと思えます。
(吹田・本人)

できる限り例会に出席したいと思えます。
(吹田・家族)

昨年の映画珠玉は1「ボヘミアン・ラプソディ」、2「日々是好日」、3「万引き家族」。読書では『日本残酷物語「宮本常一の土佐椿原(ゆすはら)の乞食の話』。老病死が身近となり、益々生きる意味を自問する年にしたい。拙句を一つ「戦争はいけやせんやと歌丸師」今年もどうぞよろしく。
(吹田・本人)

どんな事があっても意地と根性で最初一杯の手をつけない。そのためにも例会出席、断酒会に繋がりに続ける。そんな一年を！
(南千里・本人)

アルコール依存症という病気に振り廻されていた頃を思えば、今は夫婦共に健康で規則正しい生活と心おだやかな日々を取り戻すことができつつあります。断酒会の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。初診を忘れず今年も一日一日がんばります。

(南千里・家族)

昨年やっと断酒五年を迎えることができました。今年はまだ初心にかえって一日断酒で自分を見つめて一步一步あゆんでまいりたいと思います。

(南千里・本人)

一日断酒、例会出席でがんばります。

(南千里・本人)

今年も健康に気をつけて二人で例会出席を続けます。

(吹田・家族)

『出会い』『キツカケ』『チャンス』で断酒会につながれたこと。

これからも、『反省』『感謝』『報恩』の気持ちを持ち続けられるように
今年も例会出席の継続をいたします。

(吹田・本人)

昨年は何かと慌ただしい一年でした。今年はじっくりとおちついた一年でありたいと願っています。健康で成熟した一年を過ごすため、今年も一杯の酒に手を出すことなく、初心を忘れずがんばりたいと思います。

(南千里・本人)

今年も一年無事に終れそうです。例会出席も自然となり、少し酒ばなれが出来た様です。楽観的に過したいと思います。

(吹田・本人)

自分自身に負けない私であり続けたい。

(南千里・本人)

仲間の後に付いて断酒を続けていきます。

(南千里・本人)

いつまでもお酒をやめ続けていけるのは、この断酒会のおかげと感謝しております。

これからもよろしく願います。

(南千里・家族)

断酒会のおかげで新年をむかえる事ができました。今年も一日断酒で頑張ります。

(南千里・本人)

大地震と大型台風で緊張を強いられ、外国の結婚式初参加では楽しいひとときを過ごした昨年、悲喜交々の場面でもしらふでさえいればなにごとにも対応できることを実感できました。今年も断酒の力を信じてときを過ごします。

(南千里・本人)

何事があっても、喜びすぎず、悲しみすぎず、毎日を穏やかに過ごしたいと思います。

(南千里・本人)

昨年は断酒会のお蔭で本当に健やかな一年を過ごすことが出来ました。今年も例会出席を最優先に一年を健やかに過ごしたいと思います。

(吹田・本人)

断酒会出席を重ねる毎に、薬物アルコールの恐しさを痛感致します。一般の方にも知って頂けるよう願っています。体の続くかぎり出席させていただけます。

(吹田・家族)

どんな飲む誘惑にも負けないで、一日断酒を継続します。

(吹田・本人)

今年もたくさんの投稿ありがとうございました。

【今月の「指針と規範」】

断酒会規範二

断酒会には酒をやめたい人なら誰でも入会できる

断酒会入会の条件は、酒をやめたいという願望を持っているだけで充分である。

どんな政治思想や信仰を持っていても、断酒会入会の障害にはならない。しかし、断酒会は酒害者が酒をやめる会であるので、断酒会の中で選挙活動や、布教活動はできない。

社会的地位や名声のある人、経済的に恵まれた人と、どん底の生活をしている人との間には何の差別もない。

断酒会のモットーは自由平等である。どんな高い地位にいる人でも、ひとりの酒害者であることには変わりはない。そうした認識がなく優越感を持っている人は、すぐ改めてほしい。優越感、自分の断酒の足を引っぱるだけである。

どん底の貧しい生活をしていても恥じることはない。

酒害者が酒を断つ努力の過程では、その真摯な姿勢が評価されるだけである。自分を卑下することは断酒の壁になるので捨ててほしい。

心身の障害があっても、酒害者でありさえすれば歓迎される。二重、三重の苦痛を越えて努力する姿には、われわれを感動させるものがあるからである。

過去にどんな誤ちを犯していても、入会の条件に触れるものではなく、また問われもしない。逆に、泥沼から這い上がろうとする勇氣にわれわれは敬意を表する。酒害者なら誰でも入会できるのが断酒会である。

また断酒会は、こうした無条件に近い条件で入会を認めるので、あらゆる環境、あらゆるタイプの間人が集まった。そして、まじめに生きようとする人間と人間の間には、何の差も元々ないことがわかった。自由平等は原則に止どまらず、現実であることを実証した。

(指針と規範 P52～53)

